



# 市社協通信

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会  
2020年3月発行

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号(BIG FRONT ひろしま 6階 広島市総合福祉センター内)  
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416 (ボランティア情報センター直通)  
URL: <https://shakyo-hiroshima.jp/> E-mail: [voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp)

## 企業の社会貢献活動を応援しています!!

全国的に企業の社会貢献活動が広がる中、毎年、広島市社会福祉協議会(以下、「本会」という。)にも、企業の皆さまから社会貢献活動のご相談をいただいています。

相談の内容としては、「企業の強みを生かした社会貢献活動の調整依頼」や「接遇の向上等を目的とした社員研修の実施依頼」、「社会貢献活動の一環で実施するボランティア活動の紹介」など様々です。

ここでは、今年度本会が実施した企業の社会貢献活動を応援する取組や本会関わった企業の社会貢献活動の一例を紹介します。



### 本会の取組

#### ① 広島企業の企業&社員のための地域貢献応援セミナーの開催 (R2.1.16)

社会貢献活動をすでに実施している、これから実施したいと考えている、関心を持っている企業の方等を対象に開催しました。企業の地域貢献活動の始め方やメリット、広島での事例の紹介等から、社会貢献活動についての理解を深め、企業の社会貢献活動の活性化を図ることを目的に開催しました。

グループワークを通じて、他企業の取組を知っていただく機会になりました。



#### ② 福祉教育・福祉体験講座の開催 (R2.2.28)

企業において福祉をテーマにした社員研修等を実施する上での参考にさせていただくことを目的として開催しました。障害のある方からのお話や車いす体験、視覚障害者体験等を行うプログラムの一例を紹介しました。

企業において、当事者理解につながる取組が進んでいくことで、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながればと思っています。



#### ③ 企業向けボランティアハンドブックの提供

これから社会貢献活動を始めたい、または、今までの活動を見直したい企業の皆さまに参考にさせていただくものとして、企業向けボランティアハンドブックの提供を行っています。

ハンドブックは本会HPからもご覧いただけます。



### 事例紹介

#### ① ドコモショップ広島本通店 出張スマホ教室

高齢者を対象に、スマホの使い方講座を出前講座で実施したいとのご相談をいただき、毎週本会で実施している本会個人ボランティアの集いにおいて実施していただきました。

スマホの操作方法等の基本的なことから役立つ情報まで、丁寧に教えていただきました。



#### ② マツダE&T リユースパソコンの寄贈

会社のパソコン入れ替えで発生する、企業で使用できないが一般利用では製品価値のあるパソコンを、当事者団体やボランティアグループに寄贈いただいています。会社が福祉車両の製造を手掛けていることから、その関係する方々の力になればとの思いで、平成23年度から継続されています。今年度も6台のリユースパソコンを提供いただきました。



本会では、これからも企業の社会貢献活動を応援していきます。これから社会貢献活動を始めたい、福祉をテーマにした社員研修を実施したい等のご要望がありましたら、お気軽に本会ボランティア情報センターにご相談ください。

\\ 福祉に関する新しい取組や活動を応援します! //

## 令和2年度 ひろしまの地域福祉推進“チャレンジ応援”助成事業

本会では、福祉に関する新しい取組や活動にチャレンジしようとする団体に対し、令和2年度も助成事業を行います。この助成事業は、社会の変化によって生み出された様々な地域課題を、これまでにない新しい取組や活動で解決しようとしている団体への助成であり、助成金の交付後も市・区社協が継続的に関わり、協働で広島地域の福祉向上を目指しています。ぜひ一緒にチャレンジし、アイデアを形にしてみませんか。応募書類は市・区社協などに備えています。また、本会HPからもダウンロードできます。

募集期間：令和2年4月1日（水）～4月30日（木）※必着

平成31年度  
助成決定団体

### ピアサポート子育て相談センター

代表 池永 加寿子 氏



#### 【団体について】

養父母による虐待という苦しみの中で「生きる」ということを模索してきたことから、「生きていくしなやかさ、剛さ」を伝える活動をするため、平成30年7月に設立した任意団体です。現在のスタッフは5名、LINE登録会員は190名を超えました。

#### 【活動内容について】

主たる活動のピアサポート（個別相談と心理学サポート）は、子どもが60分、大人は90分です。情報収集や各専門家との連携などを入念に行い、相談者自らの気付きを待つだけでなく、一緒に前へ進めるといことに重点をおいています。

不登校の子どもが、ピアサポートを続けるうちに毎日登校できるようになったとか、子どもに対して毎日怒りをぶつけていた母親からも冷静になれたという嬉しい報告も入るようになりました。



▲セミナーの様子

そのほか、親向けの心理学セミナー、

大学キャンパスでのVR体験、虐待防止講演、クリスマス企画のパティシエール体験なども行いましたが、イベントには必ず学びの要素を盛り込むようにしています。

#### 【助成による効果】

「チャレンジ応援」助成事業の助成金を活用して、基盤となる活動をすることができたことで、次年度の事業計画も新たな可能性が広がってきました。今後は、助成金に頼らない運営力をつけていくため「チラシデザイン、ホームページ制作」などの請負を始めたところ、デジタルが苦手という他団体から依頼をいただき、大切な活動資金となっております。

これからも、親に対して「子どもの環境を整えていくのは親の務め。しっかり子どもを育ててください。」、子どもに対しては、「色々なことがあっても、必ず乗り越えていける！あきらめないで。」ということを伝え、確実に結果を出していきたいと思っています。

◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

## 居場所づくりに取り組む団体の発表会を開催しました!

地域では、様々な市民活動団体が居場所づくりや社会的課題の解決に向けた取組を行っています。団体のことを広く市民の方に知っていただき、実践者同志がつながることを目的に、令和元年12月22日（日）に発表会「届け！広がれ！出会いの輪」を開催しました。

ステージ発表では、青少年の非行・再犯防止に取り組む「食べて語ろう会」、多世代の居場所づくりに取り組む「矢野の家」、セクシュアルマイノリティに関する啓発・居場所づくりに取り組む



「こころhiroshima」の3団体から発表があり、ブース出展では子ども食堂団体をはじめ、若年性認知症の支援団体や、中学生がつくる冒険あそび場など、計17団体がPRを行いました。

参加人数140名と、たくさんの方に参加いただくことができ、発表会を通して様々な団体の活動を広めることができました。また嬉しいことに、発表会をきっかけに団体同士で見学や勉強

会などの交流が生まれるなど、団体同士の繋がりを深める機会となりました。

#### 【参加者の声】

- 居場所づくりに取り組んでいる団体がこんなにもあることを知って驚きました。将来、取組に参加したいです。
- 子育て中や一人暮らしの知人等に今日知ったことを話してみようと思います。

本会では、居場所づくりの活動に取り組む団体や個人の集まりを定期的に開催しています。関心のある方は、下記までお問い合わせください。

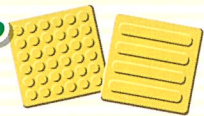


▲ブース見学の様子



◆この記事に関する問い合わせ先◆【地域福祉推進課 地域福祉係】TEL：082-264-6403 FAX：082-264-6413

# 3月18日は“点字ブロックの日”



目の不自由な方々の歩行を支える「点字ブロック」は、日本で考案され現在では多くの国で活用されています。

当日は広島市視覚障害者グループ連絡会の皆さんと広島駅など10カ所で啓発活動を行います。点字ブロックは重要な情報源です。点字ブロックの上に自転車や物を置かないでください。ご理解、ご協力、よろしくお願いします。



この記事に関する問い合わせ先

ボランティア情報センター  
TEL : 082-264-6408 FAX : 082-264-6416

## 社会的孤立・生活困窮者への支援～様々な支援団体のネットワークづくり 「広島市域 社会的孤立・生活困窮者支援団体連絡会」の紹介

本会では、社会的孤立・生活困窮者への相談・支援活動を行っている団体等が、相互に活動を知り合い、連携を図って、迅速かつ効果的な支援活動を進めていくことを目的として、標記の連絡会を開催しています。

具体的には参加団体の方から日頃の活動紹介をしてもらい、互いの活動に対する理解を深めるとともに、意見交換を通じて顔の見える関係や協働体制をつくり、平素の活動の連携につながるようにしています。

参加団体は、NPO法人や社会福祉法人、司法関係者、

行政関係者など多岐にわたります。社会的孤立・生活困窮者の方は経済的な困窮だけではなく、家族関係や住まいといった複合する課題を抱えていることも多く、多機関の連携が求められています。当連絡会がプラットフォームの役割を担うことで、支援者同士のネットワークが広がっています。



参加団体の  
支援の例

相談（来所、相談会、アウトリーチ）、シェルター提供、緊急食糧支援、集いの場づくり、社会参加の場づくり、生活支援、就労支援 など

この記事に関する問い合わせ先 ▶ 【生活支援課 暮らしサポート係】 TEL : 082-264-6405 FAX : 082-264-6413

## 3.11 東日本大震災を忘れない追悼の集い広島

東日本大震災による約2万人の犠牲者を悼む追悼の集いを開催いたします。平和記念公園から被災地に向けて哀悼の意を届け、永遠に震災の記憶を風化させないために行います。発災の翌年の平成24年から毎年実施しています。

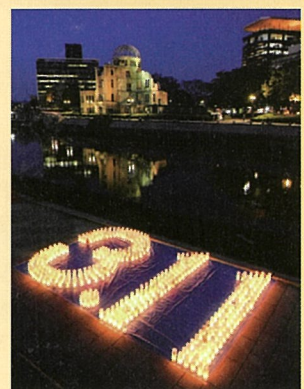
被災地・被災者に心を寄せる多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

**日時** 令和2年3月11日(水) 17:30～19:30

**場所** 平和記念公園・元安川 親水テラス

**内容**

- 3.11キャンドルの点火
- 3.11キャンドルを囲み「黙祷」



▲ 昨年のキャンドル点灯風景

【この記事に関する問い合わせ先】 ボランティア情報センター TEL : 082-264-6408 FAX : 082-264-6416

## 台風19号及び10月25日からの大雨に伴う災害ボランティアセンターへの職員派遣について

本会では下記のとおり職員9名を宮城県大崎市及び宮城県丸森町の災害ボランティアセンターへ派遣しました。

宮城県  
大崎市

10/22～10/27…1名  
10/26～10/31…2名  
10/30～11/4 …2名

宮城県  
丸森町

11/23～11/29…2名  
12/19～12/25…2名

この度の災害により被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

◆ この記事に関する問い合わせ先 ◆ 【総務課】 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

### 共同募金へのご協力ありがとうございます。



赤い羽根共同募金運動にお寄せいただいた市民の皆さま・関係機関・施設団体等の皆さまから賜りました格別のご厚情に対して、深く感謝申し上げます。

さて、本年度も全国統一スローガン「じぶんの町を良くするしくみ。」の下、その実現に向けて募金目標額を1億円で設定し、募金運動を展開いたしましたところ、令和元年12月31日現在で募金額72,782,977円の募金協力をいただきました。

お寄せいただきました募金は、皆さまのお住まいの地域の身近な福祉活動や、様々な福祉課題に取り組むボランティア活動など、地域に密着した事業に活用させていただきます。今後とも、赤い羽根共同募金への皆さまのご支援とご協力を、お願い申し上げます。

#### 広島市共同募金委員会

問い合わせ先

TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

〒732-0822 広島市南区松原町5-1 BIG FRONT ひろしま6階 広島市総合福祉センター内

### まごころ銀行へのご協力ありがとうございます。

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊いご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【令和元年11月1日～令和元年12月31日（順不同）】

#### ●一般寄附預託者

株式会社夢グループ 様  
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 様  
株式会社リアフレール 様／宗教法人真如苑 様  
そごう・西武労働組合広島支部 様



#### ●物品預託者

【食 品】久保 律子 様／株式会社パナソニック 様

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害者の福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。

◆ この記事に関する問い合わせ先 ◆ 【総務課】

TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437

## 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会賛助会員を募集しています

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた（貴社・団体・個人）も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、身近な地域で福祉のまちづくりを進める地区（学区）社会福祉協議会の活動等で使わせていただきます。

賛助会費 法人 1口 10,000円 個人 1口 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

### 賛助会員へのご協力ありがとうございます

次の方々からご協力いただきました。【平成31年4月1日～令和元年12月31日（敬称略・順不同）】

法人 94件 155口

サーマエンジニアリング(株)、水中総合法律事務所、広島パイロットクラブ、(株)やしき、広成建設(株)広島支店、(株)やまび、ファーマシイ薬局広島タワービル、協同組合広島総合卸センター、医療法人社団正岡病院、(株)桐原容器工業所、(株)京栄建設、OD倶楽部、(株)玉屋、(株)インパルスコーポレーション、医療法人比治山病院、医療法人翠星会松田病院、医療法人和同会 広島パークヒル病院、東洋観光(株)、福助タクシー(株)、(株)福屋、(株)いとや、広島市流通センター(株)、医療法人和同会 広島シーサイド病院、財団法人中国電気保安協会、(株)広島バスセンター、ざおん浄廟(有信株式会社)、医療法人社団いでした内科・神経内科クリニック、キョーリツコーポレーション(株)、(株)Taisei、ミドリ安全(株)広島支店、広島総合警備保障(株)

個人 1,819人 2,853口

岡田淳恵、小山輝江、幾田貞利、岡田文子、廣畑村夫、大島冬之美、佐々木ケイ子、安岡志之夫、新清美、秋山ツギミ、上島桂子、南郷恵美子、渡部昌子、伊藤早苗、天島重博、山野井節子、花尾正登、山川哲生、立花みゆき、古宮篤美、小尻陽子、亀山良昭、川崎松美、大下正邦、新家政良、大岩弘美、澤井マユミ、川野祐子、梶山義昭、松前和雄、田中充郎、梶岡政彦、三宅利明、安永義松、池田美樹

※紙面の都合上、全ての方をご紹介できませんが、本会のホームページにて、掲載可とされている方についてはご紹介しております。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。これからも地域福祉を推進する本会の活動をご理解いただき、様々な地域活動に積極的に参加していただくとともに令和2年度も引き続き賛助会員としてご支援をお願いいたします。

◆ この記事に関する問い合わせ先 ◆ 【総務課】 TEL 082-264-6400 FAX 082-264-6437